



ショウジョウトンボ♂
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 梅村南穂



ショウジョウトンボ♂
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年8月下旬 備考：—
 ③ 増田悠希



ウスバキトンボ
 ① 平塚市岡崎 同定：—
 ② 2023年8月下旬 備考：—
 ③ 増田悠希



ウスバキトンボ
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年8月下旬 備考：—
 ③ 相原落



ハラビロトンボ未熟♂
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：県RDB要注意種
 ③ 増田悠希



ハラビロトンボ♂
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：県RDB要注意種
 ③ 山口夏希



ハラビロトンボ♂
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：県RDB要注意種
 ③ 幸結希



ハラビロトンボ♂
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：県RDB要注意種
 ③ 平野啓



ハラビロトンボ♂
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：県RDB要注意種
 ③ 山橋さくら



シオカラトンボ♀
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 荒伎助



シオカラトンボ♀
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 丸山誠史



シオカラトンボ未熟♂
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 武重文也



シオカラトンボ未熟♂
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年7月下旬 備考：—
 ③ 有村奏祐



シオカラトンボ♀
 ① 平塚市下吉沢 同定：—
 ② 2023年7月下旬 備考：—
 ③ 梅村南穂



シオカラトンボ♀
 ① 平塚市めぐみが丘 同定：—
 ② 2023年8月中旬 備考：—
 ③ 高橋茂



オオシオカラトンボ♂
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 金子通音



オオシオカラトンボ♂
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 山田涼葉



オオシオカラトンボ♂
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 志田渚



オオシオカラトンボ♀
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 伊東愛佳



オオシオカラトンボ♂
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 佐々木奏大



オオシオカラトンボ♂
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 秋山颯汰



オオシオカラトンボ♂
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 中村いと



オオシオカラトンボ♂
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 中村心



オオシオカラトンボ♂
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 渡邊耕勇



オオシオカラトンボ羽化殻

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月上旬 備考：—
- ③ 小山田三鶴



オオシオカラトンボ♀

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 高木柊



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 浮田剛希



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 平野零



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 横山颯音



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 山口夏希



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 内田慎



オオシオカラトンボ羽化殻

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 井上日葵



オオシオカラトンボ羽化殻

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 金森彩葉



オオシオカラトンボ♀

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 小林桜花



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 一瀬希織



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 荻野菜々々



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 宮森鈴葉



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 古原颯真



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 高野瑞喜



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 小松颯真



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 杉山諒空



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 清水彩葉



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 門倉あん



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月下旬 備考：—
- ③ 吉田奈央



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月下旬 備考：—
- ③ 山口穂葉



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月下旬 備考：—
- ③ 師大和



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月下旬 備考：—
- ③ 田中晴琉



オオシオカラトンボ未熟♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月下旬 備考：—
- ③ 宮良啓永



オオシオカラトンボ未熟♂
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年6月下旬 備考：—
 ③ 長塚杏



オオシオカラトンボ♂
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年6月下旬 備考：—
 ③ 荒伐助



オオシオカラトンボ未熟♂
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年7月中旬 備考：—
 ③ 大津杏里菜



オオシオカラトンボ♀
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年7月中旬 備考：—
 ③ 神藤香桜



オオシオカラトンボ♂
 ① 平塚市下吉沢 同定：—
 ② 2023年7月下旬 備考：—
 ③ 梅村南穂



ヤブキリ♀
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年7月中旬 備考：—
 ③ 沢田優衣



ヤブキリ♀
 ① 平塚市岡崎 同定：—
 ② 2023年7月中旬 備考：—
 ③ 長谷川大洋



ヒガシキリギリス♂
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：県RDB要注意種
 ③ 大津杏里菜



ヒメギス♀幼虫
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 青柳陸太



ヒメギス♂幼虫
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 貝塚花浩



ヒメギス♀長翅型
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年7月上旬 備考：—
 ③ 堀田文之助



ヒメギス♀
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年7月中旬 備考：—
 ③ 磯田陽希



ヒメギス♀
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年7月中旬 備考：—
 ③ 幸心通



ヒメギス♂
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年7月中旬 備考：—
 ③ 有村琉雅



クビキリギリス♀
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 横田隼也



クビキリギリス♂
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 横山颯音



クビキリギリス♀
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年6月中旬 備考：—
 ③ 田淵母



ケラ
 ① 平塚市北金目 同定：—
 ② 2023年7月下旬 備考：県RDB要注意種
 ③ 長谷川大洋



ツチイナゴ♀
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 武重文也



ショウリョウバッタ幼虫
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年6月上旬 備考：—
 ③ 廣井愛穂



ショウリョウバッタ幼虫
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年6月中旬 備考：—
 ③ 井上日葵



ショウリョウバッタ幼虫
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年6月下旬 備考：—
 ③ 沢田優衣



ショウリョウバッタ幼虫
 ① 平岡幼稚園 同定：—
 ② 2023年7月中旬 備考：—
 ③ 丸山あかり



ショウリョウバッタ幼虫
 ① 平塚市土屋 同定：—
 ② 2023年7月中旬 備考：—
 ③ 磯田結月



ショウリョウバッタ♀

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年8月下旬 備考：—
- ③ 関口嘉人



ショウリョウバッタ♀

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年8月下旬 備考：—
- ③ 永井榮



トノサマバッタ♀

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年8月下旬 備考：—
- ③ 長谷川大洋



トノサマバッタ♂

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年8月下旬 備考：—
- ③ 下田梨々美



トノサマバッタ♂

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年8月下旬 備考：—
- ③ 高橋茂



イボバッタ幼虫

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年7月中旬 備考：—
- ③ 増田悠希



ナナフシモドキ♀

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年6月上旬 備考：—
- ③ 野崎歌音



ハマベハサミムシ♀

- ① 平塚市西八幡 同定：—
- ② 2023年7月上旬 備考：—
- ③ 西村彩歩



オオカマキリ♀

- ① 平塚市真田 同定：—
- ② 2023年8月下旬 備考：—
- ③ 大森謙志



オオカマキリ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年8月下旬 備考：—
- ③ 下田梨々美



オオカマキリ♂

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年8月下旬 備考：—
- ③ 荒井啓三



ハラビロカマキリ幼虫

- ① 平塚市めぐみが丘 同定：—
- ② 2023年8月下旬 備考：—
- ③ 高橋茂



ハラビロカマキリ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年8月下旬 備考：—
- ③ 荒井啓三



ハラビロカマキリ♂

- ① 平塚市真田 同定：—
- ② 2023年8月下旬 備考：—
- ③ 大森謙志



アブラゼミ羽化殻

- ① 平塚市西八幡 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：—
- ③ 西村彩歩



アブラゼミ

- ① 大和市林間 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：—
- ③ 下田梨々美



アブラゼミ羽化殻

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年8月上旬 備考：—
- ③ 沢田優衣



アブラゼミ (セアカ型)

- ① 平塚市真田 同定：—
- ② 2023年8月中旬 備考：—
- ③ 大森謙志



アブラゼミ

- ① 平塚市めぐみが丘 同定：—
- ② 2023年8月中旬 備考：—
- ③ 高橋茂



ミンミンゼミ

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：—
- ③ 長谷川大洋



ミンミンゼミ羽化失敗

- ① 大和市林間 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：—
- ③ 下田梨々美



ミンミンゼミ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年8月上旬 備考：—
- ③ 増田悠希



ニイニゼミ♂

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年7月中旬 備考：—
- ③ 浮田剛希



ニイニゼミ

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年7月中旬 備考：—
- ③ 高橋茂



ヒグラシ♂

- ① 平塚市土屋 同定：—
② 2023年7月下旬 備考：—
③ 伊藤瀬南



ミミズク

- ① 平塚市土屋 同定：—
② 2023年6月上旬 備考：—
③ 佐々木奏大



ナガメ♂♀交尾

- ① 平塚市岡崎 同定：—
② 2023年7月上旬 備考：—
③ 海老澤顕寿



トウキョウヒメハンショウ♂♀交尾

- ① 平塚市岡崎 同定：—
② 2023年7月下旬 備考：—
③ 海老澤顕寿



セアカヒラゴミムシ

- ① 平塚市北金目 同定：—
② 2023年7月中旬 備考：—
③ 沢田優衣



センチコガネ

- ① 平塚市土屋 同定：—
② 2023年7月下旬 備考：—
③ 横田隼也



コクワガタ♂

- ① 平塚市下吉沢 同定：—
② 2023年8月中旬 備考：—
③ 梅村南穂



ノギリクワガタ♂

- ① 平塚市下吉沢 同定：—
② 2023年8月中旬 備考：—
③ 梅村南穂



コフキコガネ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
② 2023年7月中旬 備考：—
③ 志田啓悟



クロコガネ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
② 2023年6月下旬 備考：—
③ 田淵舜



クロコガネ死体

- ① 平岡幼稚園 同定：—
② 2023年7月中旬 備考：—
③ 大島愛雄菜



セダラコガネ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
② 2023年6月中旬 備考：—
③ 高野瑞吾



カブトムシ♂

- ① 平塚市北金目 同定：—
② 2023年7月下旬 備考：—
③ 長谷川大洋



カブトムシ♂

- ① 平塚市下吉沢 同定：—
② 2023年8月中旬 備考：—
③ 梅村南穂



シロテンハナムグリ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
② 2023年7月中旬 備考：—
③ 中村いと



ヤマトタマシ

- ① 平塚市土屋 同定：—
② 2023年8月中旬 備考：県RDB要注意種
③ 高橋明日香



ヤマトタマシ

- ① 平塚市南金目 同定：—
② 2023年8月下旬 備考：県RDB要注意種
③ 長谷川大洋



ハラグロオオテントウ

- ① 平塚市土屋 同定：—
② 2023年6月上旬 備考：—
③ 永井榮



ハラグロオオテントウ

- ① 平塚市土屋 同定：—
② 2023年6月上旬 備考：—
③ 伊藤瀬南



ハラグロオオテントウ

- ① 平塚市土屋 同定：—
② 2023年6月上旬 備考：—
③ 宮森鈴葉



ムーアシロホシテントウ

- ① 平塚市土屋 同定：—
② 2023年6月上旬 備考：—
③ 柿千賀哉



キイロテントウ

- ① 平塚市万田 同定：—
② 2023年6月上旬 備考：—
③ 永井榮



キマワリ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
② 2023年6月中旬 備考：—
③ 丸山誠史



ヨツズジトラカミキリ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
② 2023年7月中旬 備考：—
③ 海老澤顕寿



ゴマダラカミキリ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月上旬 備考：—
- ③ 鈴木破大



ゴマダラカミキリ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 大森謙志



ゴマダラカミキリ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月下旬 備考：—
- ③ 中村いと



ゴマダラカミキリ

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年6月下旬 備考：—
- ③ 長谷川大洋



ゴマダラカミキリ

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年6月下旬 備考：—
- ③ 浮田剛希



ラミーカミキリ

- ① 平塚市万田 同定：—
- ② 2023年6月上旬 備考：国外外来種
- ③ 永井樂



ラミーカミキリ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年6月上旬 備考：国外外来種
- ③ 小山田三鶴



ヒロヘリアオイラガ

- ① 平塚市真田 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：国外外来種
- ③ 大森謙志 幼虫の棘に毒あり



ウメエダシヤク

- ① 平塚市小瀬島 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 海老澤顕寿



オオアヤシヤク (下ヨコツナサシガメ)

- ① 平塚市寺田縄 同定：—
- ② 2023年5月下旬 備考：期間外
- ③ 西村彩歩



オオミズアオ

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 宋結希



クロメンガタスズメ

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年8月上旬 備考：—
- ③ 長谷川大洋



コウチスズメ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：—
- ③ 佐野拓生・愛子・紗弥子・龍生・陽向子



ブドウスズメ

- ① 平塚市西八幡 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：—
- ③ 西村彩歩



ベニスズメ幼虫

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年6月上旬 備考：—
- ③ 海老澤顕寿



コスズメ幼虫

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年8月下旬 備考：—
- ③ 増田悠希



カノコガ♀交尾

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年6月下旬 備考：—
- ③ 佐野愛子・眞碧子・成生



フタトガリアオイガ幼虫

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年7月中旬 備考：—
- ③ 海老澤顕寿



ジャコウアゲハ幼虫

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 村田蒼志



ジャコウアゲハ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月下旬 備考：—
- ③ 森澤啓斗



キアゲハ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：—
- ③ 増田悠希



キアゲハ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：幼虫採集
- ③ 下田梨々美 →8/15に羽化



キアゲハ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：幼虫採集
- ③ 荒井心美 →8/15に羽化



キアゲハ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年8月中旬 備考：—
- ③ 高橋茂



クロアゲハ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年7月中旬 備考：—
- ③ 小山田三鶴



クロアゲハ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年7月中旬 備考：—
- ③ 植松凌己



モンシロチョウ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年6月上旬 備考：—
- ③ 丸山あかり



モンシロチョウ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年6月上旬 備考：—
- ③ 浮田剛希



モンシロチョウ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年6月上旬 備考：—
- ③ 早川杏波



ベニシジミ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年7月中旬 備考：—
- ③ 大島愛雛菜



ツマグロヒョウモン♂

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年7月上旬 備考：—
- ③ 海老澤顕寿



ヒメウラナミジャノメ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年7月上旬 備考：—
- ③ 海老澤顕寿



キムネクマバチ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月上旬 備考：—
- ③ 片沼遼也



アシダカガモ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：—
- ③ 高橋茂



サワガニ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月下旬 備考：—
- ③ 滝澤英菜



サワガニ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月下旬 備考：—
- ③ 津田瑛翔



サワガニ♀

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年7月中旬 備考：—
- ③ 横山颯音



オカモノアラガイ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：—
- ③ 高橋茂



ウスカワマイマイ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年6月上旬 備考：—
- ③ 佐藤玲愛



ミスジマイマイ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年6月上旬 備考：—
- ③ 下田梨々美



カラドジョウ

- ① 平塚市岡崎 同定：齋藤和久
- ② 2023年6月下旬 備考：国外外来種
- ③ 下田梨々美



ニホンアマガエル幼体

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年7月中旬 備考：—
- ③ 宋結希



ヤマアカガエル

- ① 秦野市曾屋 同定：手塚真理
- ② 2023年7月下旬 備考：—
- ③ 鶴田彩乃



ウシガエル

- ① 平塚市真田 同定：—
- ② 2023年6月下旬 備考：国外外来種
- ③ 一瀬希織 特定外来生物



ニホンカナヘビ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年6月中旬 備考：—
- ③ 大森謙志



ヒガシニホントカゲ

- ① 平塚市めぐみが丘 同定：—
- ② 2023年8月上旬 備考：県 RDB 要注意種
- ③ 高橋茂

INFO

訂正

Vol.29 図鑑コーナーに以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P21、3 段目 中左
「ダイミョウセセリ」→「ミヤマセセリ」

DATA

創刊号からの累計
昆虫類 669 種 (New 3 種)
その他 216 種 (New 2 種)
になりました

※種名が判明したものに限り

END

ア ひらおか ようちえん マガジンレポート

2023.6月～8月

地域の自然を
知ろう！
学ぼう！
伝えよう！

夏



7月29日、「こども環境教室～里山編」にて

平塚市主催の観察会に参加

平塚市主催の観察会（こども環境教室、ライトトラップ昆虫観察会）に参加しました。場所は、園外保育やイベントなどでおなじみの「里山体験フィールド」です。（今号の特集もこの場所で行われました）。湿地、草地、樹林帯が複合して見られることから、多様な生物が生息する場所です。少しですが、観察会の様子をご紹介します。

▶こども環境教室～里山編

2023年7月29日（土）に平塚市環境政策課主催の「こども環境教室～里山編」が行われました。この観察会は、「昆虫探し」と「自然物を利用した里山遊び」の二本立てです。

「昆虫探し」は、カブトムシ、カトリヤンマ、ヒゲラシ、ヒガシキリギリス、ヒメギスなど、里山の生きものを捕獲して楽しみました。

「里山遊び」は、ぶんぶんゴマや木の実の鉄砲など、自然物を利用した遊びを楽しみました。また、里山の畑で収穫したスイカを食べたり、カボチャ・ゴーヤなどのお土産もあったりと、大人も子どもも大満足の1日となったのではないのでしょうか。



>> 次ページへ続く

▶ライトトラップ昆虫観察会

2023年7月30日(日)にひらつか生物多様性推進協議会主催の「ライトトラップ昆虫観察会」が行われました。19:00～20:00と短い時間でしたが、カブトムシやツノトンボなど多様な生きものが灯火に集まってくる様子を観察できました。

特筆すべきは、神奈川県内の記録は数例しかないフタモンクビナガゴミムシ(県レッドデータブック2006情報不足B)が発見されたことです。同地では2019年以来、2例目の記録となります。標本は、現在改訂が進められている県レッドリスト甲虫類の担当者にお渡ししました。



これは何の仲間？(ベッコウハゴロモ)

フタモンクビナガゴミムシ(左)、ツノトンボの交尾(右)

「蛾」という子が多かったのですが、翅(はね)を触っても指に鱗粉がつきません。お腹側を見せると、子どもたちから「セミだ!」との声があがりました。

ヘイケボタル観察会

2023年7月14日(金)に、平塚市土屋のヘイケボタル生息地へ観察に行きました。いつもの場所では、辺りが暗くなってもなかなか見つからなかったのですが、少し場所を変えたところ、ヘイケボタルがみんなの前に姿を現わしてくれました。小刻みに光りながらふわふわと飛ぶ姿に「きれい～!」と参加者の皆さんから歓声があがりました。

周辺をよく観察してみると、あちこちでたくさん飛んでいます。素手でそ～っとすくって、光る様子を間近で観察することもできました。

湿地に生息するヘイケボタルは、湿地環境の悪化や消失で、県内各地で数を減らしています。今年も、元気に飛ぶ姿が確認できて良かったです。貴重なヘイケボタルの産地がいつまでも残るように、みんなで大切にしていきたいと思っています。



日本セミの会の連絡誌『蝉の塔』で
本誌 Vol.29 が紹介されました。



日本セミの会からの要望で、本誌を30部ほど寄贈しました。希望する会員のみさんに配られ、とても好評だったようです。



文献紹介

▶神奈川県平塚市および秦野市鶴巻におけるハラビロカマキリ属 Hierodula の分布状況

平塚市に外来種ムネアカハラビロカマキリが侵入してしまっことは、本誌でも何度か取り上げましたが、その後の調査で市内5カ所と市境の1ヶ所への侵入が明らかになりました。このままムネアカハラビロカマキリが増えていくと、在来種のハラビロカマキリが駆逐されてしまうことが懸念されるため、両種の分布現況を、神奈川県昆虫談話会の機関紙「神奈川虫報」にて報告しました。

なお、この報告には本誌の画像投稿コーナーに投稿された多くのデータも活用させていただきました。

【文献情報】

堀田佳之介, 2023. 神奈川県平塚市および秦野市鶴巻におけるハラビロカマキリ属 Hierodula の分布状況. 神奈川虫報, (210): 55-59.



外来種ムネアカハラビロカマキリ (左上) と卵鞘 (左下)



▶神奈川県西部におけるマツ類依存の甲虫5種の追加記録

神奈川県では、マツ枯れ等により急速にアカマツ、クロマツが消失しており、マツに依存する生物の衰退が懸念されています。平岡幼稚園では、マツ類を寄主植物とするハルゼミの全県的な調査を2015年より実施しており、副次的にマツ依存の昆虫（オオコクヌスト、ウバタマコメツキ、クロカミキリ、マツノマダラカミキリ、ウバタマムシ）の記録も得ることができました。そのため、これらのデータが県レッドデータブック改訂の基礎資料となるように、神奈川県昆虫談話会の機関紙「神奈川虫報」にて報告しました。

【文献情報】

堀田佳之介, 2023. 神奈川県西部におけるマツ類依存の甲虫5種の追加記録. 神奈川虫報, (210): 60-62.

平塚市内のカマキリ調査 & 図鑑

上記「文献紹介」に記した通り、平塚市周辺における外来種ムネアカハラビロカマキリと在来種ハラビロカマキリの分布状況を報告しましたが、綿密な調査ができたわけではありません。過去に市内では全市的なカマキリ類の調査はされたことがありませんので、これを機にカマキリ全種を対象とした調査を行うことになりました。本調査は平岡幼稚園と平塚市博物館のコラボで実施します。

調査の方法は、カマキリの写真を撮って送ってもらうという方式です。見分けのできる写真を撮ってもらうために、平岡幼稚園でカマキリ図鑑を作成しました。印刷版は平岡幼稚園もしくは平塚市博物館で無料配布しているほかに、平岡幼稚園HPでWEB版を公開しています (PDFがダウンロードできます)。

もし平塚市内でカマキリを見つけたら、「いつ」「どこで」「だれが」の情報添えて写真を撮って送って下さい。

送付先 : 平岡幼稚園 (ikimono@hiraoka-kg.com)
または平塚市博物館メール (HP参照)
調査期間: 2023年9月1日～2024年2月29日

右上: 『ひらつかのカマキリ 見分けずかん』
下: 『ひらつかのカマキリ 見分けずかん WEB版』



心が育つ 幼児教育

吉田先生編⑨

第13回



左/サトジガバチとキリンソウの花
下/体より大きなガの幼虫を運ぶ



我慢強いジガバチの愛情

キリンソウの花は昆虫たちに大人気で、チョウやハチが頻繁に訪れる。急ぎの仕事を決めた帰り道、キリンソウを眺めていると、ホソヒラタアブがホバリングしながらそっと花粉に止まった。小さな翅が光を受けて虹色に輝き美しい。そうかと思うと今度は、ヨモギエダシャクらしい幼虫をくわえたサトジガバチを見つけた。

サトジガバチは、地中に掘った巣穴にガの幼虫を運び込み産卵をする。このサトジガバチも、自分の身体より大きい幼虫をくわえて飛ばうとしたが、重くて飛ばないようだ。すると、飛んで運ぶことは諦めたのか、苔むした涼しい道を歩き始めた。しばらく進むと草が繁茂しだし、歩きにくそうだ。幼虫が傷まないように足を高くして懸命に進むサトジガバチを、そおっと追跡してみる。気付くと距離は60メートルほど進んでいて、時間は30分経っていた。何処へ行くのだろう。無事巣穴に辿り着けるのか心配になった。

サトジガバチは、辺りを見回しながらほんのひと休みをすると、また歩き始めた。少し傾斜した柿の木の傍に幼虫を置くと、土を掘り始めた。ここが巣穴だったのだ。巣穴を拡張し幼虫を運び込む。30秒ほどで産卵を終えると、土を埋め戻し、細い木の根を詰めて丁寧に土を被せ、静かに一回りすると、祈るような仕草をし東の空へ飛び去った。

サトジガバチの歩みにあまり計画性がないと思っていたが、歩いてきた道を振り返ると、ほぼ一直線であることに驚いた。初めからこの道が頭の中にあっただのだ。

「凄いなサトジガバチ」と拍手を送ると共に、この長い道のりを長い時間をかけて我慢強く運んだサトジガバチに、親としての深い愛情を感じた。



文・写真 吉田 文雄

鹿児島大学卒。元小中学校理科教諭。公立中学校長を最後に定年退職。現在は神奈川県立愛川ふれあいの村学芸員。著書に、『あつぎ自然歳時記』（国書刊行会）、『自然は友だち 春夏編』（神奈川新聞社）などがある。



第10回 知育ゲーム

出題：編集部 画：富岡誠一

カマキリの眼は夜に色が変化するよ。
何色に変わるかわかるかな？

- ① きいろ
 - ② あか
 - ③ くら
- (答えは下)

訂正



Vol.29に以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- ① P5 図① 「触覚」→「触角」
- ② P7 図② 「触覚」→「触角」
- ③ P9 上段「産卵管の元器」→「産卵管の原基」
- ④ 図鑑コーナーの訂正はP17に掲載

- **ダウンロード** 平岡幼稚園HPからPDFがダウンロードできます。
- **頒布** 無料で各号ひとり1部に限り、平岡幼稚園にてお渡ししています。(※ 要事前連絡)
ikimono@hiraoka-kg.com もしくは 0463-58-1188(担当:園長)まで
- **配架・所蔵** 以下の施設でも閲覧できます。

【図書館】 国立国会図書館(東京本館・関西館)、神奈川県立図書館、横浜市立中央図書館、平塚市中央図書館、平塚市南図書館、相模原市立図書館、茅ヶ崎市立図書館本館、大磯町立図書館、二宮町図書館、藤沢市総合図書館、藤沢市湘南大庭図書館、藤沢市辻堂図書館、横須賀市立中央図書館、座間市立図書館、鎌倉市図書館、横浜女子短期大学図書館、※厚木市立中央図書館、※綾瀬市立図書館、※秦野市立図書館、鶴見大学図書館 ※印は蔵書登録なし

【博物館等】 県立生命の星・地球博物館、平塚市博物館、横須賀市自然・人文博物館、相模原市立博物館、あつぎ郷土博物館、大磯町郷土資料館、愛川町郷土資料館、箱根町立郷土資料館、観音崎自然博物館、茅ヶ崎市博物館

【その他】 神奈川県自然環境保全センター、神奈川県環境科学センター、県立秦野ビジターセンター、県立愛川ふれあいの村、県立足柄ふれあいの村、秦野市立くずはの家、平塚市子育て支援センター、平塚市環境保全課、平塚市立岡崎公民館、金沢自然公園ののはな館、箱根町立森のふれあい館、はこね・おだわら昆虫館、平塚市立びわ青少年の家、平塚市町内福祉村おかざき鈴の里、うみねこ博物館、平塚市立土屋霊園

Back Number

過去号閲覧



湘南自然誌 PDF 版
hiraoka-kg.com/culture/



Publisher

発行元

HIRAOKA Kindergarten

平岡幼稚園



平塚市北部の伊勢原台地南端の麓に位置する我が園には、台地斜面から湧き水が染み出し、元々の表土も多く残されるなど、豊かな自然環境が保存されています。2009年より園地をビオトープにして、周囲に住む多様な生物を呼び込みながら、子どもたちと一緒に地域の自然環境を保全するほか、生物の調査・研究活動も行っています。1967年開園、園地総面積7716㎡。

主な受賞歴

- 2014年 関東・水と緑のネットワーク拠点100選に選定
- 2015年 生物多様性日本アワード 最終選考
- 2019年 かながわ地球環境賞(神奈川県)
- 2020年 日本生態系協会賞(公財・日本生態系協会)
- 2021年 地域環境保全功労者表彰(環境省)



website

Answer

知育ゲーム 答え

答えは③

カマキリの仲間、夜になると、より光を集めるために眼が黒くなります。



Editor's Note

編集後記

今号の特集は、観察会体験企画となりました。露木先生の観察会で印象的だったのは、子どもたちが見つけた虫を持って行っても、すぐには種名を言わないことでした。観察会に参加しても、名前を知ったら終わり、写真に収めたら満足、となりがちです。おそらく対象をよく観察させるための露木流の“仕掛け”なのだろうと思います。特集ではその一部しか紹介できなかったのが残念です。

最後に、前号の誤りを指摘して下さった神奈川県昆虫談話会の牧林功氏、日本セミの会の林正美氏と、生物の同定でお世話になった、くずはの家指導員の手塚真理氏と相模湾海洋生物研究会の齋藤和久氏に感謝申し上げます。(富岡)



見えないもの
見ようための
感性を磨く

観察という言葉は、「観る」と「察する」の二つの言葉からなっています。観察には「察する」という“見えないものを見る”心の働きが含まれているということであり、自然観察に夢中になる子どもは、そのような心の感性を磨いているとも言えるのです。

(露木和男)

